

授業科目	補聴器・人工内耳				
担当者	竹田利一・北野庸子・相宗菜摘・山口忍				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

補聴器のフィッティングにおける総合的な知識、補聴器適応の決定、補聴器の調整選択、補聴器適合検査の指針（竹田）人工内耳等の仕組みや適応、マッピング、聴覚障害児者の臨床の実際について学ぶ（相宗・北野・山口）

■ 到達目標

補聴器のフィッティングにおける総合的な知識、補聴器適応の決定、調整と選択の基礎、補聴器適合検査結果の評価について説明できる（竹田）人工内耳の原理を知り、適応や装着・リハビリテーションの内容や進め方を説明できる。人工内耳装用者など聴覚障害児者に適切な関わり方ができ、必要なリハビリテーション・リハビリテーションを提案することができる（相宗・北野・山口）

■ 授業計画

- 第1回 補聴器の種類と仕組み（竹田）
- 第2回 補聴器の性能（補聴器の最新デジタル機能）（竹田）
- 第3回 補聴器に関する測定、JIS、カプラの違い、実耳測定、補聴器特性検査装置を使った実習（竹田）
- 第4回 補聴器調整器の使い方、調整器の意味（竹田）
- 第5回 補聴器調整器の使い方、調整器の意味（竹田）
- 第6回 補聴器フィッティングの考え方（リニア・ノンリニア増幅）（竹田）
- 第7回 補聴器フィッティングの考え方（リニア・ノンリニア増幅）（竹田）
- 第8回 補聴器装用効果の評価と補聴器適合検査の指針2010の解説（竹田）
- 第9回 難聴幼児の母親指導（北野）
- 第10回 難聴を有する大学生の支援（北野）
- 第11回 人工内耳の原理 仕組みや適応基準（相宗）
- 第12回 音響処理方式とマッピング、人工内耳リハビリテーション（小児）（相宗）
- 第13回 補聴器・人工内耳・聴覚障害総復習（山口）
- 第14回 補聴器・人工内耳・聴覚障害総復習（山口）
- 第15回 補聴器・人工内耳・聴覚障害総復習（山口）

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

第1回～第8回は、1年時、2年前期に学習した補聴器の仕組み、特性測定の復習をして講義に臨むこと。第13回～15回はこれまで聴覚障害ⅠⅡⅢ、耳鼻咽喉科学、補聴器・人工内耳の第1回～12回の講義までの内容を総復習するので、過去のノートや教科書をよく読んでおくこと。講義中に質問紙、口頭で解答を求めます。

■ 教科書

書 名：補聴器フィッティングと適応の考え方
 著者名：小寺一興
 出版社：診断と治療社

■ 参考図書

--

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

--